

ナイスの視線で、日常の楽しみをお届けする、西成発の地域情報誌

Take free!

なな

5 月号
vol. 111

巻頭特集

なな
隣保館

「新緑の季節」

長橋公園（長橋2丁目）にて撮影



丸岡 朋樹さん



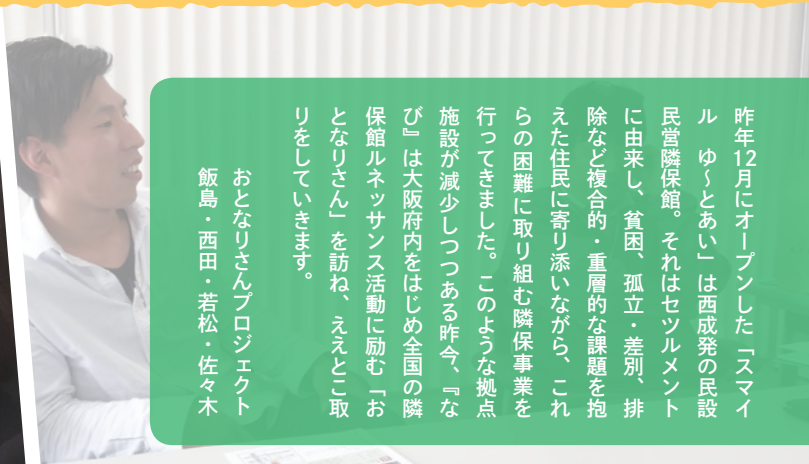
井原 芳朗さん



東方 耀平さん



松村 幸裕子さん



おとなりさんプロジェクト
飯島・西田・若松・佐々木

昨年12月にオープンした「スマイル ゆくとあい」は西成発の民設民営隣保館。それはセシルメントに由来し、貧困・孤立・差別・排除など複合的・重層的な課題を抱えた住民に寄り添いながら、これらの困難に取り組む隣保事業を行ってきました。このような拠点施設が減少しつつある昨今、『なび』は大阪府内をはじめ全国の隣保館ルネサンス活動に励む「おとなりさん」を訪ね、ええとこ取りをしていきます。



西成 隣保館

巻頭特集

おとなりさん ② 北芝らいとぴあ 21



する『地域教育事業』である。放課後の子どもたちの居場所であるデイサービス「麦の子」、春休みの「ぴあぴあ食堂」、小学生たちの学習応援「寺子屋」、中学生や青少年たちの居場所、また成人の就労体験、就労意識醸成の応援など。「らいとぴあ21」の多彩な事業は、この3つの事業趣旨を反映させる。

「らいとぴあ21」に働く職員の平均年齢は35歳以下。若き職員たちはコミュニケーション・ワーカーと呼ばれ、3つの事業要素をよく認識し、地域内での人的交流、寄り添い、情報の受発信に活躍する。

箕面市萱野（かやの）は、江戸時代には交通の要所だった。赤穂事件で有名な萱野三平の生地で知られる。「らいとぴあ21」とは至近距離にある。

箕面市内にある2つの人権文化センターの1つ、萱野中央人権文化センターは1971年に開館。95年、市民公募で「らいとぴあ21」と命名され、2010年に『NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝』が指定管理者として受託した。隣保事業の対象となる北芝地区は約200所帯500人。事業内容によつては、箕面市とNPOが独自の事業および協働事業で行われる。北芝が「らいとぴあ21」で実施する事業は、大きく分けて3つある。

1つ目は、学びを失った地域住民のための出会いをつくる『地域コミュニケーション事業』。よみかき教室、老人憩いの場、人権まつりなどを催す。

2つ目は、相談内容を限定しないワンストップ型の総合相談窓口を持つ『相談事業』。就労、年金、子育て、若者支援、障害など、それぞれが単一の問題ではなく、複合的課題だとして取り組む。

3つ目は、地域の確かな交流を推進

デザインコンセプト

私たちの案内役は、「らいとぴあ21」のコミュニティ・ワーカーである井原芳朗さん、丸岡朋樹さん、松村幸裕子さん、東方耀平さんの4人であったが、以前から、北芝の名刺やフライヤー、広報制作物に注目していた。北芝のポリシーを表すように、そのデザイン、レイアウト、配色センスが高く、専任デザイナーの有無を尋ねると、北芝でデザインを学び、13



らいとぴあ21のロビー

年前入社した尼野三絵さんというスタッフが専従で、広報物の制作を担当していたという。現在、尼野さんは、高知にある地域のインターン生として留学中といい、広報制作では、後輩たちが尼野テストを引き継ぐ。

「インターンといっても制度的なものではなく、北芝のお付き合いのある地域に職員を派遣し、win-winな関係をつくる出稽古みたいなもの。さまざまな場所の空気を学び、相互の信頼をつくることがその本旨だ」と井原さんは話す。職員の出稽古というアイデアが面白い。松村さんは「交流を通し、四国の四万十川や黒潮町などの生産品を北芝で販売したりする」と説明する。

らいとぴあ21の個性

インタビューのはじめ、4人の若きワーカーたちの、現場で経験した個人的エピソードを聞くうち、それはそのまま北芝の個性と実感した。そこで、彼らの関わりから、「らいとぴあ21」の特質を浮き上がらせてみたいと思いつく。

東方さん(19才)。「地元で生まれ育ち、

氣にいつて北芝に居つてしまった」という。これもまた食つながり。松村さんは地域通貨の発行や管理を行う「まーぶ」事業も担当する。学ぶ・遊ぶから来た略称だが、北芝では「かゝの」だの「びあびあ」だの「こつとうデリ(510デリ)」など、語源をさぐりたくなるネーミングによく出あう。どの事業も若い人たちのセンスが躍動している。

地域通貨はボランティアや学びの場で発行される。「まだ高校生だった東方さ



ごっとうキッチンの店内



ごっとうキッチン

日ごろから子どもたちと接し、就労支援や地域活動を手伝ってきた。地域内の暮らしを共有するため、らいとぴあ21に入社した。入社後2日目です。なんと！昨日初出勤だったのだ。地域で顔も知られ、すでにスキルも持つ。頼もしい新人ワーカーとして、これから前線に出ていく直前の『なび』記者会見だったのだ。

丸岡さん(30才)。「ここは食や酒などで歓待して人を受け入れる、寛容な伝統が残っている。所帯数も少なく顔も見え

んは地域通貨を集め、ユニクロで服を買おうとした。あまりの多さにお店の人が不審がられ、こちらに問い合わせが来た。東方さんはそれぐらいボランティアをして地域通貨を集めていた。自分のため、人のために地域通貨は有効となった。子どもたちにとっては遊びながら学べた事業だったと思う」と松村さん。当の東方さんは「ユニクロの服がとにかくほしかった」と恥ずかしそうに笑っている。

顔が見え、声が聞こえる。

この日、芝楽広場にある手作り惣菜・パン・弁当を販売する「こつとうデリ」や、介護事業の「イチチ合同会社」、コミュニティハウス「南の家」など多彩な事業を見学したが紙数が尽きた。地区を案内してくれたワーカーたちは、出会った住民たちと挨拶を交わし、住民たちが私たちに笑顔を返す。またどの場所にも子どもたちがいて、ワーカーたちと立ち話をしている。お年寄りや子どもたちがまじの風景をつくる。食と同様、挨拶は互いに元気を養う素になり、北芝の教育が効いている。

文責…佐々木敏明

ま〜んこ〜ん が〜んこ〜ん

ver.1.1

教育に取り組んでいるのは学校だけじゃない！小中高のほかに地域の教育事業で活躍する団体・施設・仕組みを紹介していきます。

11時間目：マナビバ！



ゆ〜とあいで「マナビバ！」活動中

「マナビバ！」で一緒に悩んで考えへん？

「マナビバ！」って何？

わかりやすくいうと若者の「居場所」です。中学校を卒業した後に進学や就職をしていない若者、または高校で不登校や中退した若者が気軽に立ち寄れるフリースペースとして運営されています。カードゲーム、パソコン、タブレットで遊んだり、本を読んだり、好きなアニメやゲームの話で雑談したり、自由に過ごすことができます。こうして居場所を提供し関係性を築くことで、若者は自分を見つめなおすようになり、今後どうしていきたいのか考えることができるようになります。

たとえば、不登校で学校に通っていないかつたり、通信制や定時制の高校に入学をめざしたりする利用者は、個別に学習支援を受けています。また、就職を希望する若者には応募書類の作成や面接練習などのサポートも実施しています。実際に、「マナビバ！」を経て、高校への入学や就職が決まった若者もいて、再チャレンジ、リスタートのきっかけとなっています。また、月に一度は、農業体験



(左) カードゲームで遊ぶ様子 (右) お話をうかがった A' ワーク創造館の園田さん



チョコレート作り、七夕、DVD鑑賞会といった教室を飛び出したイベントも開催されています。

2014年10月からスタート

「高校を中退した元生徒の居場所を作りたい」という思いがきっかけとなって、市民交流センターにになり、一般財団法人ヒューマンライツ協会と、A' ワーク創造館が2014年10月に運営を開始しました。経済的に困難な若者でも気軽に利用できるように当初から様々な助成金を活用し、なんとか利用者負担は無料で実施しています。

若者を対象とした「マナビバ！」と同様の取り組みは全国的にも少ないようで、西成区外からの利用者も多いとのこと。特に年齢制限は設けてないそうですが、主な利用者は16〜20歳代前半で毎回5人前後の方が通われているようです。区役所のケースワーカー、子育て支援関係者、精神保健福祉士、医療機関などからの紹介で利用する若者もいるとのこと。子育て、就労、生活困窮といった行政の支援を受けられない若者の受け皿として機能している気がしました。



タブレット PC もあります。

2016年3月まで

実施していた市民交流センターにしろは閉鎖されましたので、4月からは拠点にしろ隣保館「スマイル ゆ〜とあい」に移しました。お問い合わせ先は下記をご参照ください。

レポート：沖田一志
寺嶋公典

場所：にしろ隣保館「スマイル ゆ〜とあい」
スタジオ 5 (西成区出城2-5-9)
日時：毎週火・木10〜16時(祝日を除く)
お問い合わせ(担当 園田)TEL:06-6568-1840
E-mail: info2@human-ref.jp
HP: <http://kokokara.hotcom-cafe.com/>

【沖田一志】キャンプが流行ってるようで、最近では寒い時期のキャンプ場でもテントが沢山並んでいます。夏秋の人気のキャンプ場は、半年前の受付開始の数時間後で予約が埋まってしまいます。



『なび』をつくる(株)ナイスは、地域での取り組みも、社会に向けた取り組みもいろいろ。多様につながる実践を紹介していきます。

一般社団法人エル・チャレンジ
VOL.26
L's College おおさか
エルズカレッジ



J R環状線の芦原橋駅から徒歩10分。A'ワーク創造館内に昨年(2015年)4月、新しい学校『L's College おおさか』がオープンしました。特別支援学校等の卒業後の新たな選択肢として「学び」を提供する取り組みです。連続2回にわたり辻校長にL's Collegeを紹介していただきます。



障がいがあっても学びたい ～大阪府の学びの現状

大阪府では、障がいのあるなしにかかわらず「共に学び、ともに育つ」教育を推進してきました。現在、公立の小中学校は97%に支援学級を設置し、日本一の設置率を誇ります。

高等学校においても2001年度より、知的障がいのある生徒を受け入れるために調査研究が開始され、2005年には学校教育審議会で、知的障がいのある生徒の高等学校での受け入れのあり方が示されました。その結果、現在は11の府立高等学校に自立支援コース(知的障がいのある生徒の受け入れコース)が設置され、8の府立高等学校に特別支援学校との連携を重視した共生推進教室が設置され、全国に先駆けた取り組みを推進しています。また、多くの私立の高等学校や高等専修学校等においても、知的障がいのある生徒の受け入れが進んでいます。

いま、知的障がいのある生徒の教育環境

は大きく変化し、特別支援学校(旧養護学校)への進学が当たり前であった時代から、学校を選択できる時代に入っています。

18歳の春 ～選択肢は2つだけ?

一方で高等学校までの12年間の教育が終わった後に目を向けると、『就職』か『作業所(就労移行・継続B型等を含む)』の選択になります。

高校生の大学進学率が50%を超える時代に、障がいがあるからといって、「なぜ、働く」という選択肢しかないのか。」「障害があり、発達が穏やかであるからこそ、更なる学びの場を必要としないのか。」「社会人と



して、豊かに生活するための力を育んでもらいたい。」「人生を楽しむための学びの場を与えてやりたい。」「子どもにもっと学ばせてやりたい。」といった声が、エル・チャレンジにもたくさん寄せられていました。

エル・チャレンジは1999年の設立以来、清掃現場での知的障がい者の就労訓練を実施してきましたが、こうした保護者の気持ちや声にもいつか寄り添いたいという思いを強く持っていました。そこで、2014年4月に特別支援学校高等部を卒業した生徒の学びの場をつくろうと検討に入りました。

L's College おおさかの誕生

他地域の取り組みも視察しながら、「福祉制度活用の是非」や「カリキュラム」など時間をかけて議論しました。その結果、多くの方に入学を選択してもらえよう、総合支援法の自立訓練事業を活用することになりました。ただ、福祉制度を活用していますが、カリキュラムは公立学校に準じる、



第1回・第2回入学式

いや、学校そのものといっても過言ではないと自負しています。その特徴は、『働くための訓練ではなく、豊かな人生を送るための学びに挑戦していること』です。

生徒募集や内装工事などを終え、2015年4月1日には第1回L's College おおさかの入学式を無事迎えることができました。入学生は男子8名とちいさな入学式でしたが、緊張した入学生の表情や期待を寄せていただいた保護者のみなさまの顔を今も忘れることができます。そして、1期生とともに過ごした1年間と成長の姿があったからこそ、2016年4月に迎えた第2回の入学式は20名の新入生を迎えることができました。

文責…辻 行雄

※6月号ではカリキュラムなど学校の様子をご紹介します。

L's College(エルズ カレッジ)おおさか

大阪市浪速区木津川2-3-8 A'ワーク創造館1階
☎ 06-6561-7730 FAX : 06-6561-7733
Mail: linfo@l-challenge.com
http://l-challenge.or.jp/l-college/osaka/



【谷口円】5月に写真展をするので、その準備でフィルムの写真をプリントしています。今もアナログ手焼きで焼いてくれる、数少ない職人さんとの共同作業。どんな風に仕上がるかワクワク。



【田岡秀朋】生活困窮者事業の1年目、相談目標到達は4府県。対象がはっきりしないのではなく、『誰もが』生活困窮者になるかもしれないリスクを抱えた社会という『なび』94号の認識の重要性が、身にしみた。



【飯島照喜】ゴールデンウィークだ。遊ぶぞう、楽しむぞうと胸を膨らませている半面、本当にできるのか、懐疑的になる自分もいる。今年は何んも考えずに“ぶらり”と行こうかな...



今月の花: はなかいどう (花海棠)

花言葉「艶麗」「温和」
「美人の眠り」

ほろ酔い加減で眠そうにしている楊貴妃の姿を見た唐の皇帝が「海棠の眠り未だ足らず」といったことに由来して、美人の例えに用いられます。



久しぶりに楽しい、うれしい事がありました。この店を始めた頃は小学生だったジョー君が遊びに来てくれました。「おばちゃん元気! 店の中、何もかわってないな」って近況報告してくれました。なんとも高校2年生になったそうです。小学生の頃はいつも店で宿題をしていた子が、見違えるほど背も高く大人になっていました。その分私も年をとったという事です。悲しい (なんばひとみ)

hidarimaki



60〜70年代に創作されたスウェーデンの警察小説「マルティン・ベック」10作品シリーズを読み直中。10年間の社会及び人間の変容過程はこの国の現代史とも読めます。いまも高見浩氏の初代翻訳が新鮮!

ひとと衣脱ぎ四温の民にたまされる

三寒も四温も選らず街ひろい

シリウスを目じるしにして冬三角

巨大月ぬつとあらわれ春わらう

木蓮の庭ほのめいて幻燈会

花いまだ権現の効およばせよ

たの 3くふうたま



とある牛井屋さんと、どんぶり一杯無料券が当たり、喜んで「これ使えますか。」といくと、「明日からです。」と言。何事も急がず焦らず着実にやって行きたいと思います。(安田拓也)

陽気にさそわれて

にぎやかな花だんの並ぶ路地をスッと入った突き当たりの、昔の風情あふれるアパートの一室、6畳2間。

ボカボカと陽気にさそわれて毎日、どこに行くにも共にする愛用の自転車をたまにはメンテナンスしようと、朝から一汗かいていると、久々に顔を見た向かいの部屋の、少し腹のふくれたおっちゃん「どれ、かしてみい」と言って、気になるところをサッと治してくれた。

その自転車に乗り、このまちの『春』を探しに出かけてみる。

大小異なる公園が意外と多いこのまちは、綺麗な桜が沢山咲く。家族やご近所さんが集まりにぎやかに、一人酒もまた美味そうだ。

自然と体が動き出すこの季節は、何か始めるのにもってこい。

い湯かげん

市民も「当事者」に加わるのが障害者差別解消法

障害者差別解消法が4月1日から施行された。2014年に

日本の障害者福祉は、敗戦直後の

批准した国連の障害者権利条約に合わせた法整備の一環だ。この法で、国や自治体、民間事業者は、障害を理由にした不当な差別的取扱いを禁止される。また、障害者が直面する壁を取り除くための「合理的配慮」が、国や自治体には義務づけられる。ただ、「合理的配慮」は「過度の負担にならない範囲」とされ、「努力義務」に止まるため民間事業者の対応がどこまで進むか心配する声も多い。

さらに、障害者個々の相談や救済にあたる機関の設置は法文化されず、大阪府など自治体は条例を独自に設けて対応する。

1970年代から、障害者運動が高まり、次第に「制度」が整備され、2012年障害者総合支援法が成立し、「利用者本位」の制度体系が整ったかに見えた。施設から制度への「処遇」の法整備の一方で、「差別」そのものを対象にした法整備も併走してきた背景には障害者運動があった。昨年施行された生活困窮者自立支援法の場合には、福祉と労働の間に橋を架ける「中間的就労」が新法の肝だったが、障害者差別解消法の場合、「過度の負担」と「合

理的配慮」の間に架ける橋は、「努力」という名の社会運動だとボクは思う。ともすれば「差別のない状態」即ち「解放」とは、遠い先の理想郷とみなされがちだったが、この法は、禁止(公共及び努力民間)と使い分けたとはいえ、差別はいま現実克服すべき社会課題だと規定したことに画期がある。

ボクは、施設を求めた「当事者の声」のシンボルに、脳性まひの娘さんの父親であった作家の水

上勉さんの手紙「拝啓、池田総理大臣殿」を思い浮かべ、制度を拡充させたシンボルに、脳性まひ者の「青い芝の会」というラディカルな「当事者運動」を思い浮かべる。そして、障害者差別解消法の成立は、「当事者(運動)」が障害者だけでなく「共に生きる」関係者へと広がったことを意味しているという意味でも画期であると思う。皮肉なことだが、青い芝の会のような障害当事者運動は弱く、小さく見えるようになるだろうし、現にそうなりつつあると



㈱ナイス代表取締役
富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

思う。その分、「共に生きる」「共に働く」障害者運動が力強く、大きくなっていくって欲しいと願う。それは、部落解放運動にも通底するもので、多少言い過ぎかもしれないが、障害者運動より発想がちよつとマッチョで、組織が硬直している気がしてならない。障害者差別解消法に至った障害者運動を他山の石にして、様々な社会運動が「当事者(運動)概念の拡大」を思い描くことだ思う。ボクは、水上勉さんも、青い芝の会も、礎を築いた人だったと尊敬する。障害者差別解消法も生活困窮者自立支援法も、社会運動のあり方によって価値化される、ボクは、そう思う。



[西田吉志] 4月1日から9日までゆ〜とあいにて学校の春休み企画を実施。映画会や体験学習をした。中でもプロジェクトを使用した大画面でのゲーム大会は迫力満点! 大人がしても楽しめるといった。



[若松司] 「人間は不完全で暴力性を持たざるをえない。国際秩序を維持する上で一定の軍力が必要であるなら、自衛隊を憲法で規定して歯止めをかけるべき」とは中島氏。腑に落ちる考えです。

にしなり 飯ユラン

2軒目

『割烹・居酒屋 金龍』



ミシュランならぬ“飯ユラン”。匿名でなく飯島 (だから飯(メシ)ユラン) が「店主がおもしろい」、「店の客が楽しい」、「料理が、味がおいしい」の3つの「い」を基準に、西成区内の飲食店などを紹介します。

のれん、提灯、そしてスッポン鍋の立て看板などなど、なんと喧噪な店構え。のれんをくぐると、そこは時代の流れに掉さすように、昔の風情を残しつつ、静かである。“のれん”が意外性を演出してくれる金龍は、鶴見商店街2番街中央にあり、昭和10年開業、今年で77年を迎える昭和の面影を感じさせる老舗。3つの「い」の基準からすれば、板前の店主は無口だが、「料理が、味がおいしい」の部類に入る。和風料理をじっくり味わうこと

ができる店だ。今が旬のタケノコ。出汁は昆布か、カツオでとったのか、タケノコに染み込んでいて、口にいれ

ると硬すぎず、柔らかすぎず、まずまず。続いてだし巻き卵。色艶がいい、ほどよい柔らかさ、口に自然と入る。名前のふわふわだし巻きそのもの。これが意外にも日本酒に合う。店主の平野さんはもともと北新地の有名料理店で10年余り修業し、3代目として店を継いだ。だから旬、出汁、素材にこだわるのか。一品料理のほか、スッポン鍋、夏場はハモ鍋、冬場はてっちり。スッポン鍋はスッポン1匹を鍋にしたもので、金龍のおすすめ料理となっている。

割烹・居酒屋 金龍

場所: 西成区鶴見橋1丁目14-36

電話: 06-6641-0519

営業時間: 11:00~15:00、17:00~23:00(月休)



あとがき

4月から「スマイル ゆ〜とあい」に場所を変えて、「にしなり☆こども食堂」が実施されている。開始当初、あまり人と関わりを持てなかったこどもたちが、ボランティアの人や年下年上のこどもたちとも話したり遊ぶようになった。安心できる居場所ができたので、少しずつだが学校や家で困っていることも話してくれた。居場所と相談はワンセットだと実感。

(寺嶋)